

2018年5月

## 語学の勉強をしていますか？

滝田 和己

時間が過ぎるのは早く、もう5月となりました。日本では新しい学校や学年に慣れてきた頃かなと思います。しかし中国では学年の終わりに差し掛かってきており、私たちも7月には帰国となります。中国に滞在できる時間も残り僅かですので、日々をより楽しく、有意義に過ごしていきたいと思います。

この5月いっぱい、私が日本語と文化を教えるサークルの活動が終了しました。中国では7月頭に期末テストがあるので、6月になると生徒はテストの準備を始めなければいけません。そう考えると帰国が近づいているのだなと改めて感じ、この留学生活はどうだったか、達成したことは何か、これからの課題は何か、などを考えるようになりました。この留学の主な理由の一つはやはり語学学習です。今月は、私が考える外国語との向き合い方と留学することについて述べたいと思います。あくまでも私個人の考え方なので、少しでも参考にいただければ幸いです。

### 1. 山西大学で中国語を勉強して

海外に出て語学を勉強する上での最大の利点、それはやはりネイティブの授業を受けることができ、効率よく語学力を習得できるころだと思えます。授業外でも中国語のシャワーを浴び、中国語がぐんぐん上手になる留学生を何人も見てきました。現地の生徒と勉強や遊ぶことができるのも利点の一つです。私は時間があれば中国の友人と一緒に勉強をしますが、毎回知らないことを教えてくれます。しかし、本場の中国で中国語を9ヶ月ほど勉強してきましたが、正直まだまだ勉強が足りません。現在でも中国人との会話や授業でよく分からない単語を耳にします。約一年中国にいても新しい発見の毎日ですから、語学学習に終わりはないと思えますし、覚悟を持って勉強しなければ上達が難しい学問です。したがって、お金や勇気が要りますが、国外で語学を学ぶことは上達の近道です。はっきり言って、私は中国に来て良かったです。

また学習面だけでなく、出会えた仲間にも恵まれました。留学に来る学生は皆、目標や夢をもって来ますので、向上心があり意識も高く、一緒にいるだけで勉強になります。この埼玉県派遣事情で出会えた先輩方も皆素晴らしい方ばかりで、語学以外にも勉強の姿勢や人生に対する考え方など、様々なことを学びました。

### 2. 勉強の仕方

語学学習において、リーディング、スピーキング、リスニング、ライティングの4つの技能全てが重要だと考えています。英語でもどの語学でも、授業や問題集の復習が基本になりますが、4つの技能を伸ばすには教科書だけでなく、様々な形で語学に触れ合う必要があります。現在日本の大学でも英語のイベントや英会話教室等あると思えます。それらに積極的に参加することは大学生活をより豊かにするだけでなく、より生きた会話を学べます。私は山西大学でイベントがあるたびに積極的に参加しました。演劇、スピーチ、選択授業など、参加するたびに教科書には載っていない新しい単語を覚えます。海外にいれば、もはや日常生活が語学学習ですので、お店の人と会話したり、街で人に道を聞いたりして、中国語を使う機会を自分で増やすようにしています。母語でない言語を使うとき、よく「間違ったらどう

しよう・・・」と戸惑ってしまうことがあるかもしれません。しかしそこを恐れずに話すことが大切です。間違っただことはよく記憶に残りますし、語学を勉強して完璧に話すことなどまずないので、なんでも話すことが上達に繋がります。意味が伝わらなくても意気消沈することは決してありません。たくさん間違えましょう（笑）。

### 3. 海外に出ること

語学を勉強するために、もしくは旅行で海外へ行く人も多い現代。行こうか迷っている人も多いと思います。グローバルという言葉が目立つ今、海外に出ることは今後の人生にプラスとなるビッグイベントだと私は思います。よって私は海外経験を推奨します。日本では味わえない文化の体験は貴重です。日本の「当たり前」が通じない場所、見たこともない独自の文化、世界における日本は普通の国か特殊な国か。日本を客観的に見る経験は国際社会において必ず生きてきます。様々な日本企業が世界に目を向けている今、世界を知らずにどう発展できるのでしょうか？日本が進んでいるのか遅れているのか、是非自分の目で確かめてみてください。

### 4. 理系からの視点

今や文系のみならず、多くの理系の学生も語学学習に取り組んでいます。両者に共通しますが、特に理系の学生に言いたいことは「外国語は自分の分野を生かすツール」ということです。自分の分野そっちのけで外国語ばかりに集中してしまうと、自分の専門分野で勝負できませんし、「じゃあ他に何ができるの？」となってしまいます。山西大学の先生も言及していました。「95%英語ができるが、他に目立った特徴がない人」と「80%英語ができ、他に専門分野を持ち、広い視野で社会を見ることが出来る人」の2人がある会社の面接を受けたとします。どちらを採用するか。多くは後者と答えるでしょう。語学はあくまでも情報伝達のツールなので、理系を学ぶ学生にとっては、いかに自分の分野を大切にすることが将来の明暗を分けます。その上で語学もしっかり取得することができれば、活躍の場をさらに広げられるので、理系にとって語学力はとても大きな武器です。今の話題は「二刀流」です。多くのメジャーリーグ球団が「二刀流」の獲得に乗り出したように、多くの企業も「二刀流」を欲しています。これからもっとこのような人材が増えれば、日本がさらに活気に溢れるでしょう。私は大学を休学して留学しました。一年間語学学習に没頭でき、帰国後にまた自分の専門分野に集中できるので、休学留学も選択肢の一つにしてみてもはどうでしょうか。

今回は自分なりの考えを述べさせていただきました。私も大学1年生の時は、留学について先輩や先生に質問をして情報を集めていました。留学がどんなものかを知りたかったですし、目標を立てるためにも留学のイメージを作りたかったからです。留学前にはしっかりと自分の目標を確認してください。また、留学は終わりではなく始まりです。次に、将来につながる貴重な経験をたくさんの人にして欲しいです。



大同市へ旅行した際に立ち寄ったお酢の専門店。  
多種多様なお酢やお酒が売られており、豊かな香りが充満していました。  
山西省でよく売られているお酢は黒色。これを陳醋（ツェンツウー）と呼びます。  
白色のお酢よりまろやかで、香りも鼻に突き刺さるような感じではないです。



新しい火鍋屋さんが開店した日。  
めでたい日には国の色である「赤色」で盛大に祝うのが中国式。  
この店舗は山西大学商務学院のすぐ近くにあります。